

当院では、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。

受付番号 【22-I-15-01】

研究課題名	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
当院の研究責任者 (所属)	所属 唐津赤十字病院 整形外科 氏名 坂本 和也
本研究の目的 (概要)	この研究の目的は、大腿骨近位部骨折の治療経過に関する大規模データベースを作り上げることです。 「骨折」は介護を要する原因となることもあり、高齢化が進行するなか脆弱性骨折（骨が弱くなり軽微な外力で発生する骨折）への対策が求められています。大腿骨近位部骨折の治療に関する全国規模のデータベースを作り上げ、地域、病院間、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討を行うことは、この骨折治療の有効な治療法や二次骨折予防対策を科学的に確立するために大変有用です。私どもは、日本脆弱性骨折ネットワークが作りあげるこの大規模データベースに参加・協力し、より良い治療を探って参ります。
調査データの該当期間	医学研究倫理委員会承認後～令和15年3月31日 (データ自体は承認前の内容も含まれます)
研究の方法 (使用する情報等)	インターネット上のデータベースへ下記に示す情報を登録します。下記の研究に必要な情報は、当院（整形外科）に通院中の方は診療録等から収集しますが、すでに通院が終了されている場合には、当院の研究担当者より研究の対象となる患者様、ご家族様へ問い合わせをさせていただく場合がございますので、何卒ご理解いただけますようお願いいたします。
試料／他研究機関への提供及び提供方法	無し
個人情報の取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> 患者基本情報：(匿名化のため新たに作成した) 患者番号、性別、受傷時年齢 受傷前情報：住居（自宅、施設など）、歩行状況 受傷時情報：受傷日時、骨折側、骨折のタイプ、病的骨折有無、認知機能、骨粗鬆症治療 入退院時情報：受診日時、治療法、全身状態分類 (ASA-grade)、手術の日時、麻酔、併存症・合併症（褥瘡、肺梗塞、内科治療）、入院期間、退院先、退院日時、骨粗鬆症治療、予後

	<ul style="list-style-type: none"> 入院日から 30 日目、120 日目、365 日目の情報：予後、歩行状況、再入院の有無、再手術の有無と種類、住居、骨粗鬆症治療 <p>上記の研究に必要なデータは、カルテ ID 番号を、それとは別の研究用の番号に置き換えた上で管理し、患者様が特定できる情報（氏名・住所など）を削除した状態でデータを抽出して研究に使用いたします。情報と番号を結ぶ対応表は、研究データとは別に、当施設内にて厳重に保管されます。このように情報を提供して下さった患者様個人が特定できないよう、完全に匿名化された上で、研究に必要な情報を日本脆弱性骨折ネットワークのデータセンターへ提出いたします。</p>
本研究の資金源（利益相反）	本研究による利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>【研究担当者】 氏 名 坂本 和也 整形外科 佐賀県唐津市和多田 2430 T E L (0955) 72-5111 F A X (0955) 73-9530</p>
備 考	